

緩和ケア病棟における医療の実態を明らかにする多施設共同研究

1. 研究の対象

18歳以上のがんの患者さんで、平成29年1月1日から平成29年12月31日に当院で緩和ケア病棟に入院された方。

2. 研究目的・方法

国内の死因別死亡率の第1位はがんであり、今後も増加すると予想されています。がん患者さんが外来などで話される不安や心配の一つに「緩和ケア病棟ではどのような医療が行われるのだろう」というものがあります。医療用麻薬の使用量などについての研究はされていますが、これまで、緩和ケア病棟に入院された患者さんの状態と行われた医療の実態について、細かく調べられた研究はありませんでした。

緩和ケア病棟で行われている医療の実態が分かることで、緩和ケア病棟に対する不安や心配が軽減することで抵抗感が減り、緩和ケア病棟における治療を必要に応じ受け、がん患者さんの症状や生活の質が改善することが期待されます。

本研究では、国内の緩和ケア病棟に入院されるがん患者さんの状態と、行われた医療の実態を知ることが目的とします。

本研究は、日常診療で行われている診療情報を収集する前向き観察研究です。本研究のために新たに行われる評価、検査、治療はありません。

本研究の研究実施期間は4年間です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

日常診療範囲内で取得する、症状（痛み、息苦しさ、だるさ、食欲不振、息の仕方、発熱、意識の変化など）、活動性、治療（痛み止め、栄養、輸液、解熱剤、抗生剤など）などです。

4. 外部への試料・情報の提供・公表

データセンターへのデータの提供は調査票の郵送により行います。本研究専用の研究番号を用いて患者さん個人を特定することができないように管理を行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

公開データベース：大学病院医療情報ネットワーク研究センター 臨床試験登録システム (UMIN-CTR) (<http://www.umin.ac.jp/ctr/index-j.htm>) に登録します。

5. 研究組織

研究代表者：聖隷三方原病院 森 雅紀

共同研究機関および研究責任者氏名

| | |
|--------------------|--------|
| 聖隷三方原病院 | 井上 聡 |
| 日本バプテスト病院 | 伊藤 怜子 |
| 国立がん研究センター東病院 | 三浦 智史 |
| がん・感染症センター都立駒込病院 | 田中 桂子 |
| 兵庫県立加古川医療センター | 坂下 明大 |
| 聖路加国際病院 | 松田 洋祐 |
| 川崎市立井田病院 | 西 智弘 |
| 大阪市立総合医療センター | 天野 晃滋 |
| 永寿総合病院 | 廣橋 猛 |
| 小牧市民病院 | 渡邊 紘章 |
| 淀川キリスト教病院 | 池永 昌之 |
| 東北大学病院 | 井上 彰 |
| 県立広島病院 | 小原 弘之 |
| 筑波メディカルセンター病院 | 久永 貴之 |
| 吹田徳洲会病院 | 馬場 美華 |
| JCHO 東京新宿メディカルセンター | 金石 圭祐 |
| 栄光病院 | 下稲葉 順一 |
| 三菱京都病院 | 吉岡 亮 |
| 日本赤十字社医療センター | 伊藤 哲也 |
| ガラシア病院 ホスピス | 前田 一石 |
| 東京医科歯科病院 | 三宅 智 |

6. 問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの
代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお
申出ください。

この場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒 277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

国立がん研究センター東病院 緩和医療科 三浦 智史（研究責任者）

研究代表者

聖隷三方原病院 放射線治療科 森雅紀